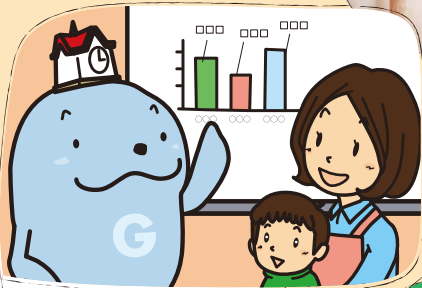




北区・白楊小学校
旧2年2組の作品



市のまちづくりの指針と
25年度の取り組みを
マンガで紹介!

特集

もくじ

- 表紙のことば／広報番組／広報クイズ…………… 1

まちづくりの新しい指針と予算を紹介
さっぽろはどう変わる? 2

- 市議会の動き…………… 8
- 札幌市からのお知らせ…………… 11
 - おでかけガイド…………… 22
 - ぐるっと北海道…………… 32

区民のページ

……………「札幌市からのお知らせ」の後ろ

交通安全に心掛けよう!!
ハウツウ
How to 自転車通行

クーポン&
プレゼント



市の各種制度や施設、行事、公共交通案内などは
札幌市コールセンター

☎ **222-4894** FAX **221-4894**

Eメール info4894@city.sapporo.jp
8時～21時（土・日曜、祝・休日を含む）

市政に関するご意見、ご提案などは
市民の声を聞く課

☎ **211-2042** FAX **218-5165**

※下記ホームページでも市政提案のメールを受け付けています。

🖥️ **札幌市役所ホームページ**
www.city.sapporo.jp

※広報さっぽろの誌面も掲載。10区全ての区民のページもご覧になれます。

携帯電話対応サイト
<http://www.city.sapporo.jp/mobile/>
こちらからもアクセスできます→



市役所・区役所などの連絡先

●市役所
〒060-8611 中央区北1西2 / 地下鉄大通駅下車
☎211-2111 (代表) FAX 218-5161 (広報課)

●区役所 (電話は代表、ファクスは広聴係)

中央区	南3西11	☎231-2400	FAX 231-6539
北区	北24西6	☎757-2400	FAX 757-2401
東区	北11東7	☎741-2400	FAX 742-4762
白石区	本郷通3北	☎861-2400	FAX 860-5236
厚別区	厚別中央1の5	☎895-2400	FAX 895-2403
豊平区	平岸6の10	☎822-2400	FAX 813-3603
清田区	平岡1の1	☎889-2400	FAX 889-2402
南区	真駒内幸町2	☎582-2400	FAX 582-0144
西区	琴似2の7	☎641-2400	FAX 641-2405
手稲区	前田1の11	☎681-2400	FAX 681-6639

※市税事務所の所在地、電話番号は29ページをご覧ください。

- 大型ごみ収集センター (大型ごみの有料収集申し込み)
9時～16時30分 (土・日曜、祝・休日を含む)
☎281-8153 耳や言葉の不自由な方は ☎281-4622
- 救急医療情報案内センター (24時間) (医療機関の案内のみ)
フリーダイヤル ☎0120-20-8699
携帯電話、PHS専用 ☎011-221-8699
- 夜間急病センター
中央区大通西19 / 地下鉄東西線西18丁目駅下車
☎641-4316 ☎615-8604

👤 **札幌の人口と世帯**
3月1日現在 (前月比)
国勢調査ベース
1,929,905人 (-179)
911,865世帯 (+47)

🚗 **市内の交通事故**
平成25年1月1日～2月28日 (前年比)

発生	1,197件 (+63)
死者	1人 (-2)
傷者	1,384人 (+44)

広報さっぽろは、毎月10日までに、町内会などを通じて市内の全世帯に配布しています。また、一部の地域では、市が委託した民間の会社が配布しています。詳細は、広報課かお住まいの区の区役所広聴係へお問い合わせください。

📖 **札幌市市長政策室広報部広報課**
〒060-8611 中央区北1西2 ☎211-2036 ☎218-5161
Eメール kohokakari@city.sapporo.jp

表紙のことは **春のまどをのぞいてみると**

きたく はくようしょうがっこうきょう ねん くみ さかもと あいり
北区・白楊小学校旧2年2組 **坂本 藍梨**

いろがみ はる つく
色紙でまどからのぞいた春のけしきを作りました。
わたしが作るときにくふうしたところは、三色の紙を
くしゃくしゃにしてお花ばたけを作ったところです。
とても楽しくて、とてもいい作品ができました。



きょう ねん くみ ともだち せんせい
旧2年2組のお友達と先生

今月の広報番組	
テレビ	ラジオ
<p>札幌ふるさと再発見 STV 毎週土曜 11時54分～59分 [内容] 芸術の森でアート体験 。</p>	<p>スマイルさっぽろ AM 1287kHz HBC ※「山ちゃん美香の朝ドキッ!」(9時～11時)内 4月9日(火)、23日(火) 9時35分～45分 [内容] まちづくりトーク 。</p>
<p>いいコト聞いた UHB 毎月第2、第4日曜日 8時55分～9時 [内容] 市民防災センターがリニューアル 。</p>	<p>ポップアップさっぽろ FM 80.4MHz AIR-G ※「Sparkle Sparkler」(12時～16時)内 4月4日(木)、18日(木) 12時25分ごろから約5分間 [内容] 春と言えばこの季節! 「さっぽろスイーツ」 。</p>
<p>ウオッチング札幌 TVH 毎週火曜 22時54分～59分 [内容] ホッキョクグマ「ララ」の赤ちゃんに会いに行く 。</p>	<p>サッポロ・シティ・ナビ FM 82.5MHz NORTH WAVE 4月7日(日)、21日(日) 9時50分～10時 [内容] 10年後の札幌のまちを考える ～まちづくり戦略ビジョン 。</p>

中央・東・厚別・豊平・西区の広報番組を、それぞれの区内にあるコミュニティFM局で放送しています。放送日時などは、上記5区の区民のページをご覧ください。

※テレビ番組は、インターネット配信を行っています。
<http://www.city.sapporo.jp/somu/tvradio/movie.html>

広報クイズ

問題
平成25年度予算では、「まちづくり戦略□□□□」に基づき、中長期的な取り組みに積極的にお金を配分しています。
□に当てはまるカタカナをお答えください。

🎁 **プレゼント**
正解者の中から抽選で30の方に、共通ウイズユーカード(1,100円分)を差し上げます。

📝 **応募方法**
はがき、ファクス、Eメール。クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と、広報誌や広報番組へのご意見・ご感想を記入し、広報課(左記)へ。1人1通。4月19日(金)消印有効。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。なお、3月号の正解は「まちづくり」でした。



市のまちづくりの新しい指針と 平成25年度の予算を紹介

さっぽろはどう変わる?

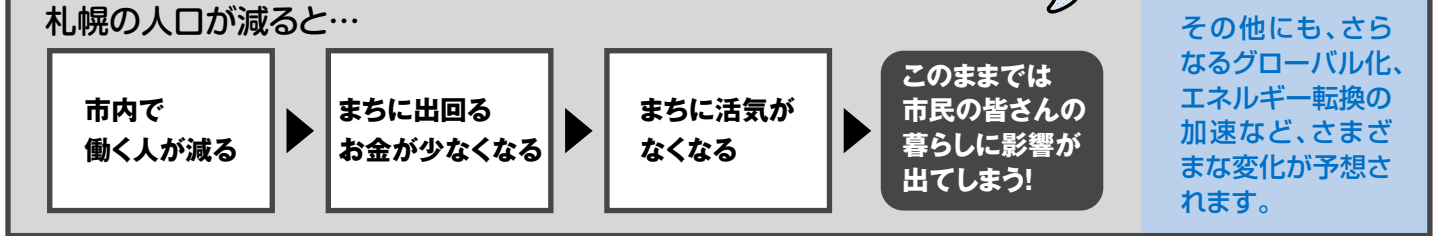
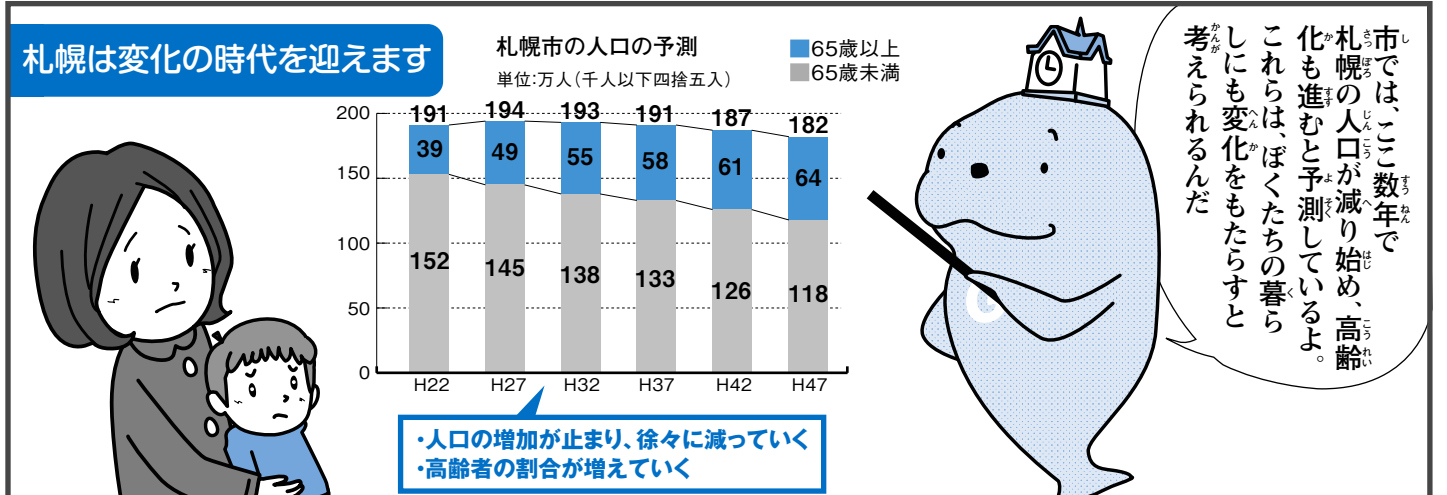
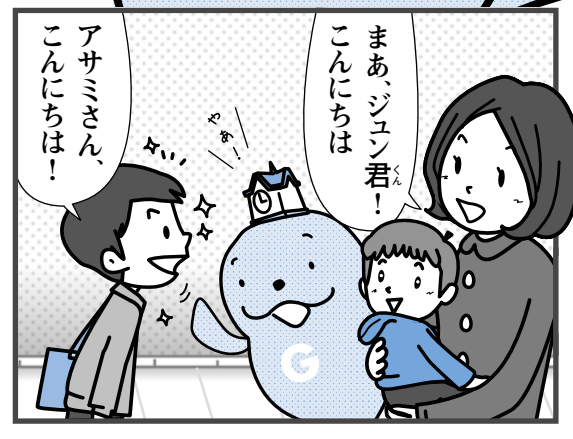
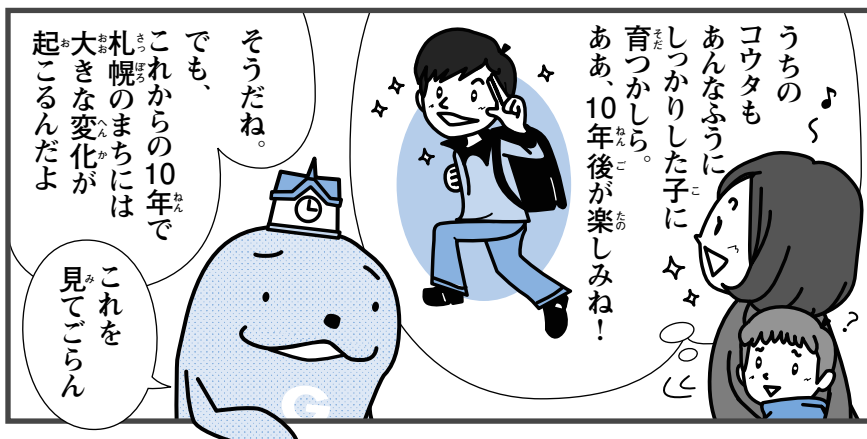
今後10年間のまちづくりの指針である「まちづくり戦略ビジョン」のビジョン編と、それを踏まえて編成した「平成25年度予算」が、このたびまとまりました。今回は、それらの内容を紹介しながら、私たちの暮らしや札幌のまちにどのような変化があるのか見ていきます。「まちづくり戦略ビジョン」に関するお問い合わせは、政策企画部企画課☎211-2192「予算」に関するお問い合わせは、財政課☎211-2212

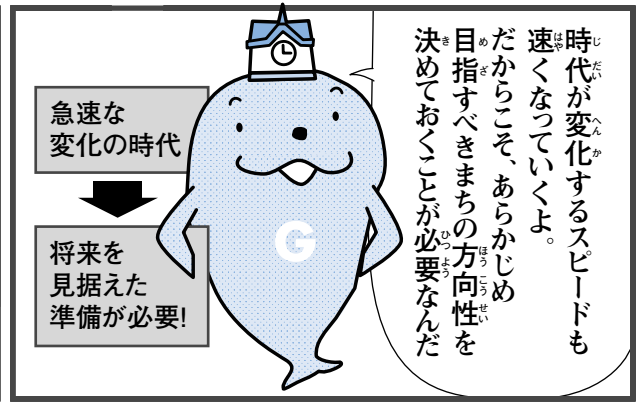
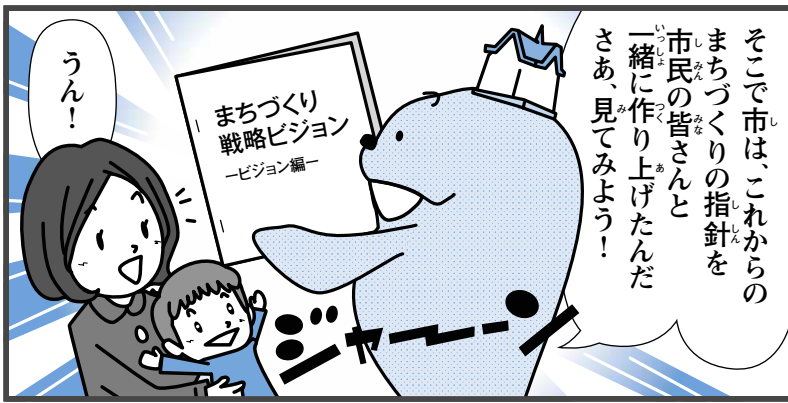


主な登場人物

ギウ太
南区で太古の化石が発見されたジュゴンの仲間「サッポロカイギウ」の子孫。世話好き。

アサミ
夫と営む定食屋のおかみさん。明るく元気で、地域の人々に愛されている。





これからの10年を輝かせる、札幌市のまちづくりの指針 まちづくり戦略ビジョン〈ビジョン編〉ができました！

市民会議やワークショップなどを重ね、市民の皆さんと一緒に作り上げました。



目指すべき都市像

北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

新たな価値を生み出す創造とチャレンジ

豊かな自然や文化、育まれてきた知識や技術を生かしながら、人々が新たなことに挑戦し、魅力が生まれるまちにします。

札幌型ライフスタイルの追求

札幌ならではの、都市文化と自然に囲まれた暮らしを楽しみ、その魅力を発信するまちにします。

世界に誇る環境首都の実現

北国らしいまちの特長と、北海道の豊かな自然エネルギーを生かし、環境にやさしいまちづくりを進めます。

互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

つながりと支え合いのまちづくり

誰もが自分のできる範囲で社会的な役割を果たすとともに、お互いを認め合い、つながる、共生のまちづくりを進めます。

道内市町村との連携と魅力創造

北海道・札幌が持つそれぞれの良さを生かし、道内の市町村と連携しながら、北海道全体の魅力をさらに高めます。

世界の中での都市の共生

平和や人権、環境・エネルギーなど、地球規模の課題にも取り組み、世界の都市の一員として責任と役割を果たします。

「目指すべき都市像」を実現するために取り組む7つの分野

- 安全・安心
- 子ども・若者
- 経済
- 地域
- 文化
- 環境
- 都市空間

詳しい内容は市役所10階政策企画部企画課で配布中の冊子をご覧ください。ホームページでもご覧になれます。

札幌市 まちづくり戦略ビジョン

検索

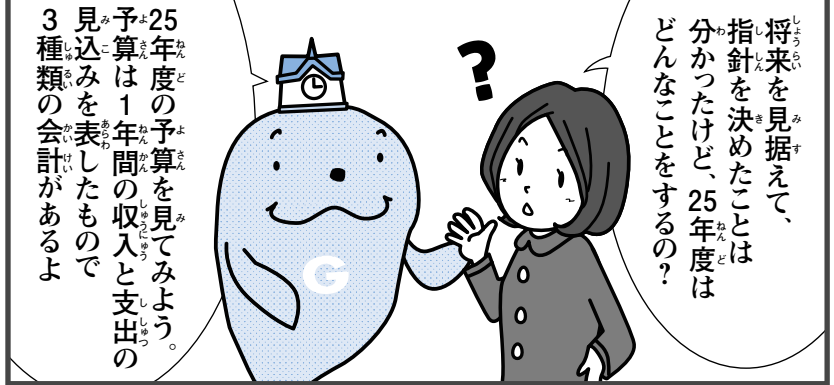
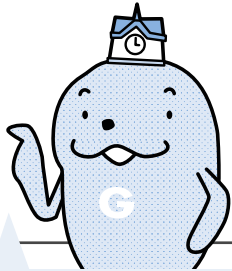


平成25年度の予算

一般会計

8,524 億円

福祉や道路整備など、市が行う基本的な仕事のお金をまとめたものを一般会計というんだ。金額は昨年とほぼ同じで、内訳は下のグラフの通りだよ。



そのほかの会計

特別会計

3,518 億円

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区別が必要な会計

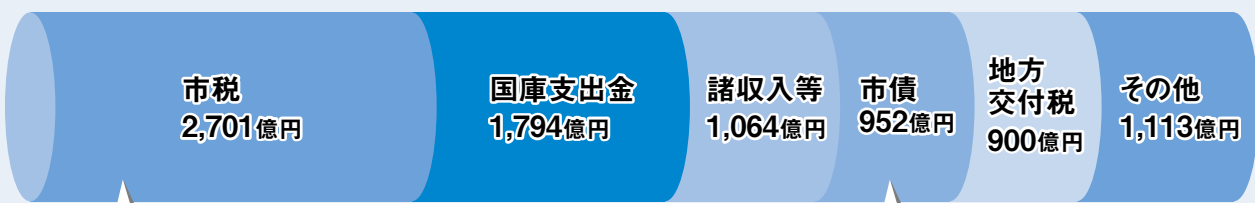
企業会計

2,483 億円

地下鉄や水道など、利用料金などによる収入で運営している会計

総額 8,524 億円

歳入



市税 前年度比 +13億円

景気低迷などにより個人市民税が減少するものの、固定資産税やたばこ税が増え、総額では前年度予算より、増加しました。

市債 前年度比 +33億円

臨時財政対策債※の増加などにより、前年度予算に比べ、増加しました。

※本来、国が現金で交付すべき地方交付税について、その一部が支払われない場合に、市がいったん肩代わりして発行する市債

歳出

総額 8,524 億円



保健福祉費 前年度比 +187億円

地域の福祉施策を充実させるための予算を配分したほか、生活保護などの扶助費の増加により、前年度予算に比べ、増加しました。

職員費 前年度比 -16億円

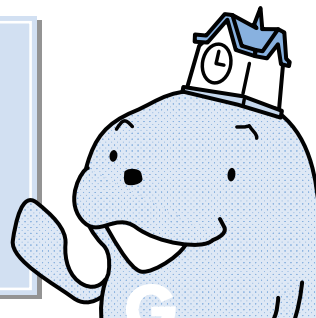
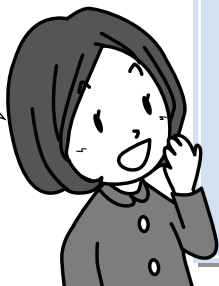
退職者数の増加により退職手当が増加するものの、職員数の減少などにより、前年度予算に比べ、職員給与を抑制しています。

■市民1人当たりの市税の負担(139,955円/年) ■市民1人当たりのサービスに掛かる費用(441,680円/年)

25年度予算のポイント

- 中長期的なまちづくりにつながる取り組みに積極的にお金を配分
- 地域福祉の充実や、経済対策、エネルギー施策などの取り組みを強化

札幌の未来も考えてつくられた予算なんだね



予算の配分は、まちづくりの戦略ビジョンの内容を踏まえて考えているんだよ



安全・安心

災害対策や、地域とのつながりを強める取り組みなどを進めます

市有施設の耐震化を進めます ▶ 72億9,210万円



区役所や区民センターの耐震化などを行い、災害時に地域の応急活動の拠点とするとともに、地域住民の避難場所として活用できるようにします。また児童生徒の安全確保のため、学校施設の耐震化・改築も行います。

地域の保健福祉活動を充実 ▶ 8,800万円

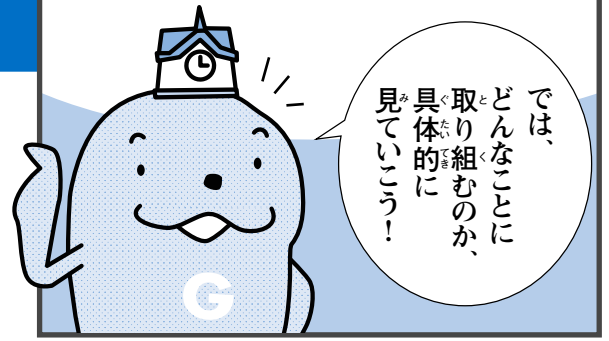
先行地区で、地域の課題を詳しく把握するためのアンケート調査を行い、高齢者の見守りなどを充実させます。また、保健師が積極的に地域へ出向いて、町内会と連携体制をつくるなど、地域の保健福祉活動を強化します。

障がいのある方の地域生活を支援 ▶ 3,350万円

障がい者支援に携わる人材の育成や事業所支援などを行う中心的施設として、「基幹相談支援センター」を新設します。また、昨年に続き、市と民生委員などが知的障がいのある方の見守りを行い、地域とのつながりを拡大します。

ほかにも

特別養護老人ホーム新築費などの補助(5億4,700万円)、高齢者からの緊急通報や健康相談に対応する高齢者あんしんコール事業(2,140万円)など



※金額は10万円未満を四捨五入しています

では、
どんなことに
取り組むのか、
具体的に
見ていこう！

救急安心センターさっぽろを新設

▶ 1億2,750万円

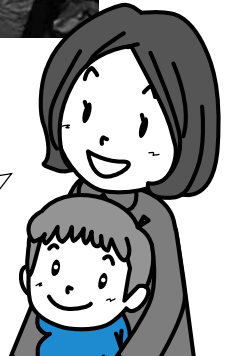
10月から運営開始

急病の市民からの電話相談に24時間365日対応する窓口を設置します。看護師などの相談員が、医療相談や医療機関の案内を行うほか、緊急時は119番(救急)への引き継ぎなどを行います。



救急安心センター(大阪市)

救急安心センターが
できれば、
子どもが夜中に
急病になっても、
相談に乗ってもらえ
るので安心ね



子ども・若者

子育てしやすい環境を整備し、子どもの健やかな成長を支えていきます

私立保育所の整備費などを補助

▶ 29億5,640万円

待機児童解消のため、私立保育所の新築・増改築などの費用を補助するほか、既存の私立幼稚園の建物の一部や敷地を利用した「私立認定保育所」を新設し、保育所定員を1,210人増やします。



不登校の子どもたちを支援

▶ 7,130万円

不登校の子どもたちの悩みや不安に応じた支援などを行う「教育支援センター」を新設するほか、学校で子どもの心のケアを行う「心のサポーター」などを増員します。また、いじめや自殺防止のための啓発にも力を入れていきます。



教育支援センターが新設されるリフサッポロ(白石区)

ほかにも

私立幼稚園の預かり保育などの運営費を補助(9,550万円)、常設の子育てサロン運営費を補助(9,720万円)など

経済

市内の企業経営を支えるとともに、札幌の強みを生かした産業の育成に努めます



中小企業へ資金を融資 ▶ 826億4,200万円

経営改善に取り組む中小企業向けに設けた「経営力強化支援資金」などにより、札幌の経済を支える中小企業を支援します。

企業立地の補助を充実 ▶ 4億2,150万円

バイオ・食関連産業、コールセンターなどの雇用や設備投資などに対して補助し、企業立地を進めます。

映像を通じて産業振興を目指す コンテンツ特区の取り組みを推進 ▶ 1億4,070万円

撮影費の助成や手続きの迅速化により、映画などを撮影しやすくするほか、映像作品の商談会などで海外の映像作者との人脈を強化。映像を通して札幌の魅力を発信し、観光など産業全体の発展につなげます。



ほかにも 食関連産業の振興のため、フード特区の取り組みを強化(2,380万円) など

地域

市民がまちづくりに参加しやすくなるよう、体制や施設を整えます

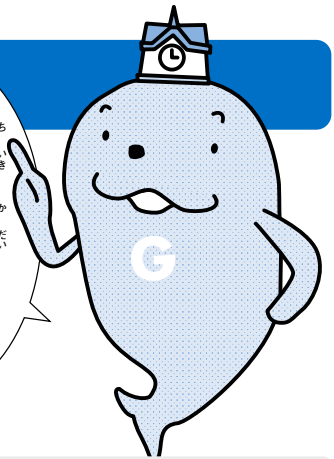
市民のまちづくり活動への参加を後押し ▶ 3,620万円

テレビCMの放映や不動産会社との協力体制により、地域住民のまちづくり活動への参加を促すとともに、町内会の加入を呼び掛けます。また、NPOや大学・企業と地域が連携して行うまちづくり活動を支援し、地域の力を底上げします。

NPOと地域が連携する事業については、32ページに募集のお知らせを掲載しています。



地域の課題を、住民自らが解決する取り組みを、市は応援するよ



ほかにも まちづくりセンター・地区会館の改修(5億4,920万円) など

文化

市民の感性を刺激する、文化芸術やスポーツを楽しむ機会を増やします

札幌国際芸術祭の開催準備を進めます ▶ 7,400万円

世界最先端の文化芸術に触れられる国際芸術祭に向け準備を進めるほか、芸術祭に先立ち、11月にイベントを開催します。



上田市市長と芸術祭の監修を務める坂本龍一氏

来年夏に開催

アジア冬季競技大会の開催に向けた準備 ▶ 1億3,900万円

第8回アジア冬季競技大会に向けて本格的に準備を開始。大会の広報活動を行うとともに、各競技団体などと大会運営方法の協議を進めます。



23年にカザフスタンで行われた第7回大会の開会式

29年冬に開催

ほかにも 大倉山・宮の森ジャンプ競技場の改修(4億800万円)、中央体育館改築の基本設計、調査(4,440万円) など



環境

地球に優しい自然エネルギーの活用を進めるとともに、環境を守り育てる取り組みにも力を入れていきます

家庭での節電を促進します

▶ 8,980万円

市民に節電の実践を呼び掛ける節電キャンペーンや、対象となるLED照明を購入した方にICカードSAPICAを交付するLED推進キャンペーンを実施。また、消費電力量をモニター表示する「見える化機器」を貸し出し、家庭での節電の定着を図ります。

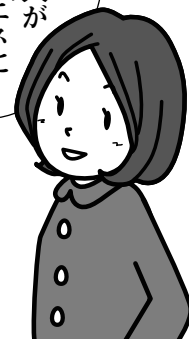
新エネルギー・省エネルギー機器の導入補助

▶ 5億200万円



市民や中小企業者などが、太陽光発電や蓄電システム、高効率給湯暖房機などの新エネ・省エネ機器を導入する際、費用の一部を補助します。

私たちが一人一人が節電などの省エネに大切な取り組みが



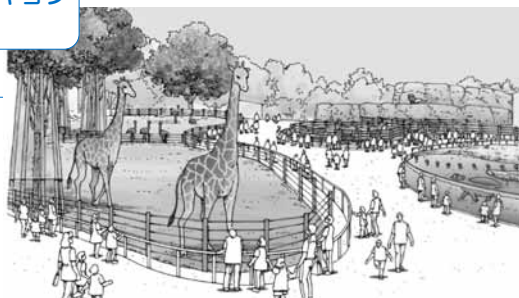
LED照明の購入者へのSAPICA交付は24ページ、新エネ・省エネ機器の導入補助は31ページに、募集のお知らせを掲載しています。

円山動物園に新施設を整備

▶ 2億9,190万円

アフリカのサバンナや水辺に生息する動物を中心に展示し、動物たちの共生や食物連鎖、命のつながりを伝えるアフリカゾーンを建設します。また、国際的な施設基準に基づく新たなホッキョクグマ館の建設に向け、計画づくりを始めます。

アフリカゾーンは27年度、新ホッキョクグマ館は28年度にオープン予定



アフリカゾーンのイメージ図→

ほかにも

大規模太陽光発電の設置支援(1億円)、エネルギー施策の検討(2,700万円)、都心部での民有地緑化助成やみどりのボランティア育成支援(3,300万円) など



都市空間

都心部を整備し、市民をはじめ、観光で札幌を訪れた人たちも魅力を感じられるまちにします

北1西1地区の再開発を推進

▶ 3億7,060万円

新たな都心のまちづくりを先導する北1西1地区の再開発事業を、事業費の補助などにより支援します。また、同地区に、ホールや図書館を備えた文化芸術拠点となる(仮称)市民交流複合施設を建設するため、計画の検討を進めます。

施設は30年度にオープン予定

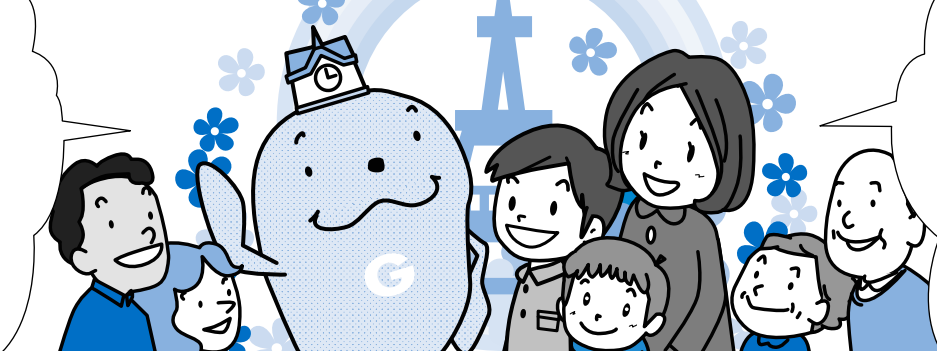


ホールのイメージ図

ほかにも

市有施設の保全(21億4,300万円)、北8西1・南2西3南西地区などの再開発を支援(3億8,800万円) など

誰もが安心して暮らし、みんなが笑顔になれるまち。これからも、そんな札幌を一緒につくっていきましょう！



経済支援など今すぐ対策が必要なことから、地球環境など未来を考えたものまで、たくさんの方の取り組みを計画的に進めていくんだね

市民自治の取り組み成果

おの まさみ
小野 正美

民主党・市民連合



問 市役所職員の意識改革と市民との対話を重視した市政運営に取り組んできた結果、市長就任後10年間の市民自治の取り組み成果をどのように評価していますか。

答 「市民のために、挑戦する市役所」を目指し、市民サービスやコミュニケーションの改革などさまざまな取り組みにより、職員の意識改革は着実に進んできています。また、市民負担を伴うものも含め、政策決定過程において必要な情報を分かりやすく提供した上で市民参加の機会を確保し、市民議論を尽くしてきました。10年間の取り組みにより、「市民自治が息づくまちづくり」の理念は、市民に根付き、受け入れられていると実感しています。

札幌国際芸術祭の方向性

はやし せいじ
林 清治

民主党・市民連合



問 札幌国際芸術祭は、第3次札幌新まちづくり計画で、創造都市さっぽろの象徴的な事業として位置づけられています。どのような国際芸術祭を目指していくのですか。

答 国内外のアーティストが参集し、開催テーマ「都市と自然」に込められている思いを受け止め、札幌固有の気候風土や歴史、伝統文化、豊かな自然、多彩なイベントやインフラなどの都市資源を、札幌の魅力として引き出し、世界に向けて発信してもらいたいと考えています。

高齢者緊急通報システム事業の見直し

みうら えいぞう
三浦 英三

公明党



問 慢性疾患のある高齢者が、自宅での発作など万が一の際に、ボタン一つで救急車を呼ぶことができる高齢者緊急通報システム事業を実施していますが、地域協力員の確保や対象者の要件が厳しい、誤報が多いなどさまざまな課題があります。そこで、新たに高齢者あんしんコール事業を立ち上げるとのことですが、現行の高齢者緊急通報システム事業をどのように見直すのですか。

答 民間の受信センターに医療や介護などの専門職を常駐させ、緊急通報に加え、健康・生活相談に24時間体制で対応するほか、センター側からも定期的に電話をし、利用者の状況を的確に把握するなど、きめこまやかな対応を行います。また、対象者についても85歳以上のひとり暮らしの方は心身の状態を問わないこととするほか、介護保険の認定を受けている方も加えるなど要件を緩和し、地域協力員の登録も任意とするなど、高齢者の実情を踏まえた使いやすい制度とします。

市議会の動き

2月13日に招集された第1回定例会の中から、2月18日、19日、20日の代表質問の主な内容、3月10日までに議決された議案などについてお知らせします。

3月11日以降の内容は、5月号でお知らせします。

なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

公契約条例

むらやま しゅうや
村山 秀哉

自民党・市民会議



問 公契約条例案については、業界側の理解を得ること、丁寧に話し合いをすることを主張してきましたが、経営者、被雇用者側にさまざまな負担を強いることになる現状の案では、業界側は到底、容認できません。市長は、勇気ある決断として、本条例案を引き下げてはいかがですか。

答 業界側とは、市の考え方に理解を得られるよう、丁寧な議論をしてきています。本条例案の目指すところは、税金を有効に活用し、企業を発展させ、そこで働く従業員の経済、賃金も守っていくことです。そして、それらの結果として、本市内の経済循環につなげていきたいと考えています。

郊外住宅地のまちづくりに対する姿勢とその対応

ばん よしたか
伴 良隆

自民党・市民会議



問 少子高齢化と人口減少の中で、魅力と活力ある都市を形成するには、全市内の地域ごとに諸課題を調査・分析し、住みやすい郊外住宅地をさまざまな専門分野から総合的にプロデュースし、マネジメントする体制や、全庁横断的な取り組みが、今まさに必要ではないですか。

答 地域によって、さまざまな課題があります。課題解決に向け、組織横断的なプロジェクトチームを作り、地域の特性をとらえながら、総合的な検討をしていきます。

委員会の主な活動状況

[2/11~3/10]

総務委員会

生物多様性さっぽろビジョン(案)のパブリックコメントの報告および札幌市円山動物園基本計画のパブリックコメントの報告について、環境局から説明を受け、質疑を行いました。(2/26)

文教委員会

「札幌市の保育・子育て支援の拡充と予算増額を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(2/22)

厚生委員会

札幌市健康づくり基本計画「健康さっぽろ21」の最終評価および札幌市健康づくりセンターのあり方検討部会からの提言書について、保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。(2/13)
第二期特定健康診査等実施計画案について、保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。(2/26)

建設委員会

継続審査中の「札幌市営住宅家賃減免制度の見直しに係わる陳情」3件の審査を行い、不採択とすべきものとししました。(2/22)

経済雇用対策・新幹線等調査特別委員会

北海道新幹線の現状について、市民まちづくり局から説明を受け、質疑を行いました。(3/8)

第一部・第二部予算特別委員会

平成25年度予算案などを審査しました。(2/27、3/1、3/5、3/7)

第1回定例会

[3月10日までに可決された議案など]

- 平成24年度一般会計補正予算道路除雪費や学校施設改修費の追加などで総額199億8,263万円を補正するものです。
 - 札幌市議会基本条例
 - 北朝鮮の地下核実験実施に対し厳しい制裁を求める意見書
- このほか、「札幌市暴力団の排除の推進に関する条例案」など合計28件の議案などが可決されました。

■ 編集 札幌市議会事務局
☎211-3164 FAX 218-5143
■ 市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai

学校教育の諸課題

かねこ 金子 やすゆき
市政改革・みんなの会



問本市小学校における外国語指導助手、いわゆるALTの配置は、希望校だけやりくりの上、年、数時間配置するという状況です。教育は、未来の世代への投資です。外国語活動の強化について、取り組み方針はどのようになっていますか。

答小学校に重点を置いてALTの増員を進めています。来年度からは、異文化を理解し協調する態度や、コミュニケーション能力の素地をより一層養うため、配置方法の改善を図っていきます。

問過度なゆとり教育で授業時間が減り、学力が低下しました。土曜日を使って授業時間を確保し、学力向上を目指す地方自治体独自の取り組みは、全国で既に始まっています。本市も土曜日授業を実施すべきだと思いますが、いかがですか。

答国が方針を示し、学習指導要領などの法令で定めるべきものと考えています。

豊平区の姉妹殺傷事件

きむら あきお 木村 彰男
みんなの党



問この姉妹の母親に不安定な兆しが見えたのは昨年夏のことです。このとき、親子を保護すれば、今回の件は未然に防げたと考えますが、それをせず、本年1月に次女の家出を契機とする親子の関係断絶を見てもなお、傍観した市の対応は、その感性を疑わざるを得ません。

市側に、次女の命を守れなかった責任はないのですか。また、保護するか、在宅のまま見守るか、その判断手法に改善の余地はないのですか。

答小学生の次女が亡くなり、三女も重傷を負うという大変痛ましい事件となりました。この世帯は、以前から児童相談所、区役所、学校、病院などの関係機関が連携して、情報を共有しながら対応していましたが、このような事態に至ったということは、大変残念です。

本市の対応については、札幌市社会福祉審議会において検証をしていきます。

児童心療センターの問題

いとう りちこ 伊藤 理智子
日本共産党



問ある児童福祉施設からは、緊急な対応が必要なときに、24時間体制で入院できる児童心療センターは心強い、民間ではできないことだ、との声があります。診療体制維持に必要な3名の医師は、センターに残る医師1名と、本市の医師の内部異動者2名と新聞報道されました。病棟や診療体制の縮小は、あってはならないことです。現時点での見通しはいかがですか。

答現入院患者の処遇を最優先に考え、市内部の医師の人事異動による対応も含め、少なくとも常勤医師は3名を確保できる見通しです。

常勤医師5名による現診療体制の確保は現時点では厳しい状況ですが、北海道大学、札幌医科大学や市内民間医療機関などに協力をお願いし、数名程度は非常勤医師として確保できる見込みとなっています。今後も引き続き、診療体制維持のため、医師の確保に努めていきます。

札幌国際芸術祭

おぐら なほこ 小倉 菜穂子
市民ネットワーク北海道



問開催に当たり、世界へ向けて平和メッセージを発信するとともに、次代を担う子どもたちが参加する視点を持って取り組むべきだと思いますが、いかがですか。

答文化芸術には、人との交流や連帯感を深め、多様なものを認め合う心を養う力があり、社会の平和につながるものと信じています。芸術祭を通じて、子どもたちが感性を豊かにし、コミュニケーション能力や創造性を高められるように、事業内容を具体化したいと考えています。

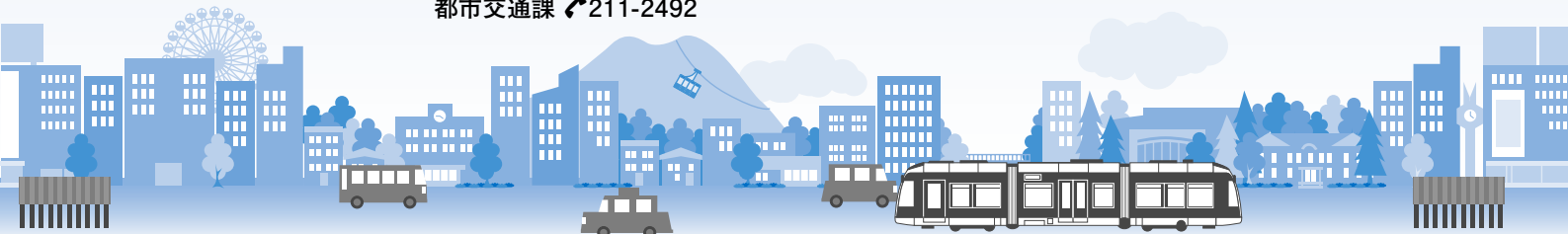
問芸術祭を生かし、アートツーリズム(文化芸術と観光)の積極的な推進を図るべきだと思いますが、いかがですか。

答芸術祭は、国内外からの集客を予定していることから、開催に合わせてアートツーリズムの推進、強化を図り、札幌・北海道の素晴らしさをより深く知ってもらいたいと考えています。

5月上旬 路面電車に 新型車両が登場!

このページに関するお問い合わせは
都市交通課 ☎211-2492

5月上旬から、路面電車の新型車両1両の運行を始めます。このページでは、まちなな魅力の一つとなる新型車両の特長を紹介。この機会に、皆さんも路面電車に乗って出掛けてみませんか。



これがデビュー間近の新型低床車両!

街並みに溶け込む、洗練されたデザイン

白と黒を基調とした外観で、札幌の都市の先進性や、爽やかな気候風土などをイメージしています。

乗り降りしやすい小さな段差

地面から床面までの高さを、従来の車両よりも50cmほど低くしました。高齢者をはじめ多くの方が乗り降りしやすくなります。

広い車内。大きくて開放的な窓

車体が長くなり、定員は従来より約2割増の71人に。窓も大きくなり、車窓から広がる四季折々のまちなな景色を眺めやすくなります。



車両の製造費用～約2億6千万円

車内

乗客の利用しやすさを追求した、温もりあふれる空間

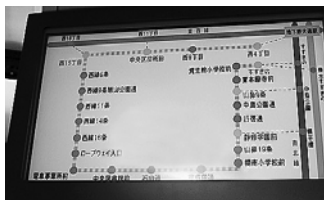
スムーズに移動できる 段差の無い通路

車内の床は段差が無く、車いすやベビーカーでの移動もスムーズ。車いすは専用のスペースに固定できます。



行き先などが分かる 液晶電光掲示板

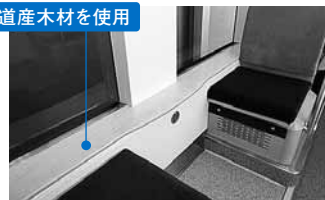
停留場名や料金を確認できるモニターを、車両の前後と中央の計4カ所に設置します。



木の温もりを 感じられる空間

窓側のサイドテーブルなどに道産木材を使い、柔らかい雰囲気の空間に。また、新たに冷房も完備し、夏でも快適に過ごせます。

道産木材を使用



平成26年春までに、さらに2両の新型車両の導入を予定しています。

一足早く、新型車両が街中を走行

4月上旬から 新型車両の 運転の訓練を行います

運行開始に向けて、4月上旬からは運転手が新しい車両に慣れるための習熟運転が行われます。運行時刻は未定で、乗車はできませんが、デビュー目の新型車両が見られるかも?

路面電車のこれから

H27年春 ループ化し、 停留場を新設します

路面電車をより利用しやすくするために、駅前通の「西4丁目」と「すすきの」の間約400mを結びます。完成は平成27年春の予定で、両停留場の間に新たな停留場を設置します。

